

井書記長ほか、総勢7人で訪問しました。

初日にお訪問した堀川議員は京都選出で、学費値上げや学生の生活困窮問題で従来から京大職組とコントラクトがあります。全大教側は、これまでの国立大学運営費交付金の減額状況、とくに「ミッショント実現加速化経費」などのいわゆる「ヒモ付き競争的資金」が増えて基盤的経費が減額されていることを説明し、第5期の交付金配分ルールの検討が始まられるこの時期に、ぜひ授業料無償化とともに運営

立大学予算が減額されているのは「デマだ」などと主張していることも取り上げ、そうした主張の間違いを説明しました。科学技術関連予算の全体が増えているように見えることは事実ですが、その額は算定基準の改定などによって水増しされており、またたとえその総額が増えようと、運営費交付金のうちの「基盤的経費」が削減されていることが大学の教育研究力を奪っていくことです。

また、先日の財政制度等審議会で、「一部の私立大学では四則計算など非常に低レベル

金教では 5月2日(火)
と28日(水)、国会議員訪問と
要請活動を行いました。訪問
に先立ち、与野党を含む主要
国政政党の議員に連絡し、訪
問受け入れの回答があつたと
ころを回ることとしました。
その結果、今回の訪問先は、
共産党衆議院議員の堀川あき
子氏、れいわ新選組衆議院議
員の大石あきこ氏、立憲民主
党衆議院議員の菊田真紀子
氏、共産党参議院議員の吉良
よし子氏の4人となりました。

国会議員訪問と要請活動 運営費交付金の抜本的増額など



2025年6月10日

第432号

【発行所】
全国大学高専教職員組合
(略称：全大教)



[PDF版(全面カラー)]
http://zendaikyo.or.jp/?page_id=107
[電話] 03-6802-4250

* 組合員の購読料は組合費に含まれています(一部30円)

今月の紙面

（5月14日）
して交流会（4月22日
11日）

- ・ 単組からのレポート
- ・ 京都大学
- ・ 「5月の活動レポート」
- ・ 高知大学
- ・ 「高知大学が抱える組合的問題」

立憲民主党の文部科学部門会議ヒアリング

全大教 日本私大教連 公大連の三団体共同で

5月26日



報告をする全大教中央執行委員長 笹倉万里子
(左から二人目 於：衆議院第2議員会館 大会議室)

5月20日 学校教育法の改正を求める国公私立大学教職員組合協議会（以下、3団体協議会）は、立憲民主党の文部科学部門会議ヒアリングに臨みました。参加者は3団体協議会側が9人、立憲民主党から参加した議員は、亀井西紀子議員をはじめとして10人でした。全科教からは笹倉中央執行委員長と永井書記長が参加しました。

まず、3団体協議会から教授会を審議機関とすることと、学長を選挙で選ぶこと等を含んだ改正提案を説明しました。2014年の学校教育法の改正が、国公私立を問わず、大学の自治の後退の大きなきっかけになつ

に戻す」とは、大学の中でも再び活発な議論が行われるようになるきっかけになると考へておると答えました。今回のレクで、私たちの主張をきちんと理解していただけたかどうかはわかりませんが、私たちが大学の自治を非常に重要なこととして捉えていること、大学の自治の中でも、特に構成員による自治を重要視していることは伝わったかと思われます。今後も3団体協議会で引き続き活動していく予定です。（中央執行委員長）